

完成門 弾劾法用 3・27 全国総決  
 主催 三里塚芝山連合空港



# 3・27 三里塚闘争 圧倒的成功

臨調・行革粉碎 / 三里塚シエマト闘争勝利 /

つづいて、北原事務局長から基調が提起され、「農民の農地がなくて三里塚闘争はあり得ない。十八年間、農地死守・実力闘争・空港絶対反対の路線で闘ってきた。これは偉大な財産である。全国の皆さんに心配をかけた『一坪再共有化』問題は、この反対同盟の路線を『対話』路線に変えるのか、それともこれまでの闘いの歴史を継承し守り抜くのかの問題である。今、分裂集団は横堀で集会を開いている。彼等は分裂を強行した三月八日、条件派を引き込んで総会をデッチ上げた。三里塚闘争破壊を繰り返すあの革マル派が、この分裂集団に共闘を申し込んでいる。この集団の本質は明らかである。革マル粉碎・成田市議選勝利・5・22現地闘争へ不屈の決起で闘い抜こう」と呼びかけました。

## 5・22へむけ不屈の決起を 北原事務局長が基調提起

「一坪再共有化し、脱落分子を弾劾し、基本路線も貫き、二期着工阻止へ！」

3・27 三里塚現地集会は、降りしきる雨の中、反対同盟農民を先頭に全国から六八〇〇名が参加し、「一坪再共有化」土地を売る運動の裏切り・脱落分子を弾劾し、あくまでも反対同盟の基本路線一切の話し合い拒否・農地死守・実力闘争・二期阻止・空港廃港を貫くことを全体で確認し、熱気あふれる集会としてかちとられました。

動労千葉からは二五〇名が参加し、集会後の岩山記念館下までのデモを貫徹し闘い抜きました。

## 反対同盟が 新役員体制を確立

前夜来の雨で沼田のようになつた三里塚第一公園は、全国から結集した闘う仲間たちで埋めつくされました。

集会は、十二時二十分に開会し、冒頭北原事務局長は、農地を売り三里塚闘争を条件闘争に換えようとする一坪共有化策動を粉碎し、同盟の基本路線を守って闘う新役員体制が確立されたことを発表しました。

## 反対同盟・各団体が 基本路線を貫き共に闘う決意を表明

この後、わが動労千葉をはじめ、部落解放同盟、全関西実行委、北富士、日本原、砂川、佐世保海を守る会などの共闘団体、支援団体代表から「『一坪再共有化運動』を推進する分裂、脱落集団を弾劾し、あくまでも基本路線を貫く北原事務局長を中心とする反対同盟を支持し、共に闘う」とのあいさつが次々と行われました。

そして、発言が東峰、天神峰の敷地内反対同盟、そして、各学区反対同盟に移ると、全参加者の力強い拍手と歓声が高まり、会場は熱気につつまれました。

こうして雨の中を、四時間半にわたる集会が圧倒的にかちとられ、岩山記念館下までのデモ行進を貫徹して終了しました。



「降りしきる雨の中も、デモ行進する」  
 動労千葉の隊列